

能勢町特定環境保全公共下水道事業の分担金徴収に関する条例の一部を改正する条例について

反対討論

八木 修

そもそも行政が進めている下水道や農業集落排水事業に反対の立場で、ムダな公共事業を止めて、福祉や教育に予算を回すべきだと、これまで一貫して主張している。しかし今回の質疑を聞いていてあまりにもいい加減なのでひとこと言わせてもらおう。これまで事業を進めるにあたり、「住民に受益者負担金（分担金）のことで説明し、維持管理費などは説明しなかったことを反省している」と聞き直っている。公共事業の典拠例で、事業がある程度進み後戻りできなくなった時点で、住民に新たな負担を押し付けるやり方だ。このこともこれまでなんども指摘してきた。今後下水道使用料が大幅に上がる事は答弁を聞いて明らかだ。早く実態を住民に説明し、行政の責任も明らかにすべきだ。

反対討論

高木 教夫

憲法の第14条、すべての国民は法のもとに平等であるというふうにある。人種、信条、性別、社会的身分または門地により、政治的、経済的または社会的関係において差別されないことである。行政は、農集排であれ公共下水道であれ、差額を発生した場合に、それをいかにして公平性を保てるようにするのが、やはり行政の仕事であるというふうに思われます。初めから価格ありきはいかなるものかと思われまので、これでは今後、やはり警戒をされていく行政主導の工事の流れに対する不安が高まるばかりであります。

特に下水道事業におきましては、今後5年、10年ぐらいの単位で、予算を含めて事業計画をきっちり確立をしていただいでから、やはり住民に対する負担金や分担金というものを示していただきたいというふうに思います。現在のような場当たり的な方法では、やはり住民の不安が高まるばかりであるというふうに思われますので、反対の立場を貫かせていただきたいと思えます。

賛成討論

長尾 義和

これまで多くの議論にもあったように、受益者分担金を定めるにあたっては色々な考え方がありますが、整備区域ごとに算定する方法が基本と考えている。今回、受益者分担金を60万円にこだわると、これまでの事業で負担してこられた方から、新たな議論が起ってくることも考えられる。

今後の諸情勢は、物価等を含め変化が生じてくる可能性は高く、分担金の額を固定化してしまうと、今後の事業推進に大きく支障をきたすと考える。

これまで、受益者負担を伴う水道事業や圃場整備事業についても、それぞれの事業区域で説明し、理解を得て受益者分担金を定めてきた経緯もあり、その時点での分担金の適正額、その整備区域での適正額を定めていくことが、公平性を保っていくのではないかと考える。

供用開始を間近に控えた天王地域の農業集落排水事業に欠くことのできない条項を定めた条例案であり、賛成する。

賛成討論

岡本ひとし

分担金徴収に関する条例改正については、前年度9月の全員協議会、定例議会、12月定例議会において、条例改正の趣旨説明及び、分担金の算出根拠の説明も何度となくありました。昨年12月定例会において同条例の提案が否決されたことを受け、今回の定例会において更に丁寧な説明もありました。事業の運転が目前に控えており、理事者より今後の下水道計画の基本的な考えも示されました。また、地元天王地区の同意もあり、今回の条例は原案通り可決することも政治的な配慮が必要と思われまます。よって、原案通り可決すべきと思います。

賛成討論

今中 喜明

本条例の改正については昨年の十二月に提案されたところであるが、私は反対の立場をとってきました。その理由として町全体の下排水計画のビジョンが示されないまま本事業が進められた。すなわち議会との議論がないままに地元との交渉を進め、分担金額の根拠のあいまいさなど、不明確なところが多くあり十分に理解できる答弁がなかったためである。

しかし、今回の再度の提案において、今後このような事業を進める上で議会と十分な議論の中で進める。下排水事業を推進するには、負担金や使用料を含め経営観念を持って総合的に事業を進めること。これからの負担金、分担金の金額の決定においては、住民の不安をおおるような金額の設定をしない。以上のような付帯決議の主旨を町当局が十分理解され、事業が遂行されることを期待して賛成の立場をとります。又、本条例の改正にあたり付帯決議があった件については、町全体の下排水計画のビジョンを早期に議会に示し、住民の理解を得ていく姿勢を示すことを、町当局に要請し、賛成の討論とします。

賛成討論

濱 諦弘

能勢町は市街化区域と山間部とが混在している。下水道が適した場所もあれば、合併浄化槽が適した場所もある。これからの世の中は和の精神の時代です。前回、反対された議員にも賛成して頂きたく、今後の下排水処理のプランを見直し、明確にするという付帯決議を加えた上で、賛成します。